

平成25年度予算を可決
高齢者に配慮し、子育て世代の定住を重点的に推進

一般会計予算 74億6409万円

3月11日から開会した平成25年第1回熊野町議会定例会に、平成25年度の予算案が提出された。審査に当たっては、議員全員で構成する「予算特別委員会（山吹委員長）」を設置し、町当局から予算の概要や各事業に関する説明を受けた。

委員会では質疑が交わされ、委員会終了後に再開した本会議では、委員長報告のとおり、全ての各予算案を原案どおり可決した。平成25年度予算における、主要な事業の一部を左記に紹介（表記単位未満を四捨五入しています）。

区分	平成25年度予算額	対前年度比
一般会計	74億6,409万円	0.9%
特別会計	国民健康保険事業	33億4,216万円 0.6%
	公共下水道事業	8億8,332万円 △5.6%
	後期高齢者医療	5億1,811万円 11.5%
	介護保険	20億2,554万円 4.9%
	土地取得	22億1,120万円 -
下水道事業会計	収益的支出	4億6,768万円 △0.9%
	資本的支出	1億1,385万円 △12.7%

総務部門



生活福祉交通（おでかけ号）を本格的に運行

- 生活福祉交通（おでかけ号）を本格的に運行。また公共バス路線に運行経費の一部を助成。
3,330万円
(交通輸送対策事業)
- 東京銀座TAUの熊野筆セレクトショップを活用した町・熊野筆のPR及び情報発信を行うほか、K-JINで絵てがみ体験事業を実施。また筆に関わる大学生等を対象に民泊事業を実施。
2,067万円
(定住交流促進事業)

建設部門



来年度から架け替え工事に入る五反田橋

- 老朽化した、五反田橋の架け替え工事を実施。
3,930万円
(国庫) 橋梁維持修繕事業)
- 約1.7haの流通系産業団地を造成。
2億2,269万円
(国庫) 深原地区町有地造成事業)
- 住宅を新築又は中古住宅を購入する子育て世代への支援措置として助成金を交付。
2,100万円
(子育て定住促進助成金交付事業)

民生部門



子育てのしやすいまちのために

- H27年度から始まる「子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査を実施。また、子育て支援センターの機能強化。
1,127万円
(次世代育成支援対策事業)
- 住民健診の実施とともに、健康相談や「健康増進計画」、「食育推進計画」に基づく事業を展開。
4,082万円
(生活習慣病予防対策事業)

教育部門



町民体育館の屋根改修と外壁防水工事等を行う

- 町民体育館の屋根改修及び外壁防水工事等を行う。
8,209万円
(社会体育施設管理事業)
- 学校施設の耐震性能を向上。
8,914万円
・第一小特別教室棟、体育館
4,366万円
・第二小普通教室、特別教室棟
6,514万円
・第三小南校舎
6,206万円
(平成24年度繰越事業)

予算特別委員会での質疑

質疑の一部を紹介！

- Q 他市町ではごみ袋の有料化が導入されているがどう考えるか。
A 県内では、安芸郡4町と福山市だけが無料。本町は1人当たりのごみ処理単価が近隣市町と比べて低く、ごみ焼却処理は広域で行っているため、その中で検討している。
- Q 大気測定サイクルとPM2.5について。
A 第二小及び役場の屋上で、窒素酸化物を毎月測定している。PM2.5は県で測定しており、高い数値が測定されたら県から通知が来る。
- Q イノシシ対策と、その成果は。
A 有害鳥獣駆除実施隊と連携し、H23年はイノシシ138頭、ヌートリア19頭を駆除している。自ら防除してもらうための電気柵等に対する補助金もある。
- Q 各学校における耐震工事の予定は。
A 第二小と東中は、夏休み前から準備し、夏休みに工事を行う。第一小と第三小は夏休み後の秋口に工事着工し、年度内完成を目指す。
- Q 子育て住宅の補助について、2世帯の新築は対象か。
A 子供を持つ世帯の持分が3分の2以上であれば、2世帯新築も対象になる。
- Q 町民体育館の耐震状況は。
A 耐震で問題の建物は昭和56年を境としており、昭和63年建設の体育館はクリアしていると考えている。
- Q 五反田橋の架け替えはいづからか。
A 全て取り除いて架け替える工事。今年11月から下部の工事に入り、平成26年度当初から上部に取り掛かりたい。